

令和8年4月21日

## 委員会・分科会運営に関する要望書

和光市議会 議長 小嶋 智子 様  
和光市議会 議会運営委員会 委員長 吉田 武司 様

和光市議会「和光・まちづくり市民の会」  
和光市議会議員 赤松 祐造  
和光市議会議員 内田 あや

近年、地方議会には、限られた人的資源の中での議会機能の強化が強く求められている。本議会においても、委員会・分科会運営について時代の要請に応じた見直しの余地あり。議会機能の強化および効率的な議会運営の実現に向け、以下の事項について要望する。

### 1. 現状の課題

- ① 近隣自治体と比較し、本議会は委員長報告・分科会長報告の時間が長い
- ② 委員長・分科会長報告について、事前に文書として整理されているにも関わらず、本会議において全文を読み上げる運用となっている（申し合わせ事項に「口頭にて行う」旨の定めあり）
- ③ 審査内容の重複説明により、報告の場となる委員会・本会議の長時間化を招いている
- ④ 質疑・答弁を読み上げる形式は、市民にとっても論点が分かりにくい

### 2. 見直しの方向性

- ① 委員長報告の事前公開  
委員会審査結果は「委員長報告書」として文書化し、議員への事前配布とともに市議会ホームページにて公開する。  
(参考) 令和8年各委員長報告 - 志木市議会 - ずっと住み続けたいまち 志木
- ② 口頭+書面による報告  
現在“口頭のみ”で行っている報告を、“口頭+書面”に変更し、本会議および予算決算常任委員会での口頭での報告は、結論および主な論点に絞った報告に移行する。
- ③ 討論および質疑の機会確保  
委員長・分科会長報告の効率化により、討論および質疑（将来的には議員間討議）に時間を確保できる運営・体制構築をめざす。

以上